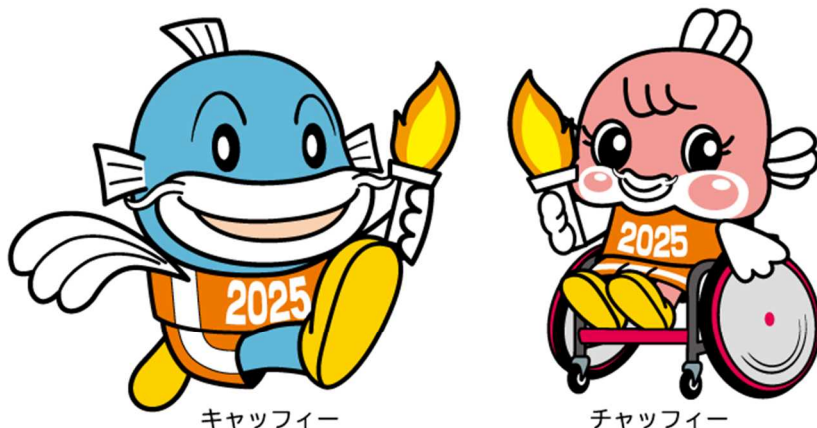


令和3年(2021年)8月3日
第10回常任委員会決定

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

式典基本構想



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和3年(2021年) 8月

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

目次

式典基本構想策定にあたって	1
1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	2
2 式典の概要	4
(1) 式典テーマ	
(2) 式典の基本的な考え方	
3 総合開会式・開会式の概要	5
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成および次第	
4 総合閉会式・閉会式の概要	7
(1) 基本的な考え方（両大会共通）	
(2) 構成および次第	
5 各競技会の表彰式	9
(1) 基本的な考え方	
(2) 実施方法等	
6 炬火イベント	9
(1) 基本的な考え方	
(2) 展開イメージ	
7 式典にかかる今後のスケジュール	10
参考資料	11

式典基本構想策定にあたって

国民体育大会（令和6年（2024年）から「国民スポーツ大会」に名称変更）は、昭和21年（1946年）の第1回大会以来、国民の健康増進と体力向上を図るとともに、地方スポーツの推進と地方文化の発展に大きく寄与し、国内最大のスポーツの祭典として国民に広く親しまれてきました。

本県では、昭和56年（1981年）に「水と緑にあふれる若さ」をスローガンとした第36回国民体育大会「びわこ国体」を開催し、これを契機として、スポーツの普及・振興を図ってきたところです。また、同年には、「わたしにもこんな力が 生きがい」をスローガンとした第17回全国身体障害者スポーツ大会「びわこ大会」を開催し、障害のある方が力強く競技する姿は多くの県民に大きな感動を与えました。

そして「びわこ国体」「びわこ大会」から44年ぶりとなる令和7年（2025年）に、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が、再び、この滋賀の地で開催されることとなりました。両大会では、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンとして、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、健康・体力の保持増進、競技力の向上を図ります。また、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人により、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

中でも、総合開・閉会式をはじめとする両大会の式典は、「滋賀らしさ」「滋賀の魅力」を全国に発信できる絶好の機会となります。全国から訪れた人々を心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残るものにしたいと考えています。

本式典基本構想は、令和2年度（2020年度）に策定した式典基本方針を踏まえ、式典に関する基本的な考え方を明らかにし、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」における式典全体の共通指針として策定します。



昭和 56 年 「びわこ国体」開会式の様子

1 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

- 大会名・開催時期・実施競技

第79回国民スポーツ大会

開催時期：令和7年（2025年）9月中旬～10月中旬の11日間

実施競技：正式競技 37競技
特別競技 1競技
公開競技 7競技
デモンストレーションスポーツ 19競技（令和3年3月現在）

第24回全国障害者スポーツ大会

開催時期：令和7年（2025年）国民スポーツ大会後の3日間

実施競技：正式競技 14競技
オープン競技 3競技（令和3年3月現在）

- 愛称

わたSHIGA輝く国スポ
わたSHIGA輝く障スポ

選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

- スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いを込めています。

● マスコットキャラクター

<プロフィール>



キャッピー

2007年4月27日生まれ。
性別は不明ですが、自分のことを「ぼく」と呼びます。
出身地は琵琶湖・竹生島付近。性格は、どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。
ただ、陸上では疲れやすく、すぐに昼寝をしてしまいます。
得意なスポーツはサッカー、エアロビクス。
見た目のわりにスピーディでトランポリンもこなしますが、頭でっかちのせいか走るとよく転びます。
好きな食べ物はエビ。得意技はキャッピーターン。
名前は、ナマズの英名『キャットフィッシュ』から付けられました。



チャッピー

2009年6月13日生まれ。
2つ下の幼なじみで、「キャッピー」とは昔から仲の良い友達です。
泳ぐことは得意ですが、陸でのスポーツは少し苦手。「キャッピー」に教えてもらっています。少しどんくさい「キャッピー」のフォローをしようと頑張りますが、たまに空回りしてしまうときもあります。
大会のマスコットキャラクターに選ばれて少し不安そうにしている「キャッピー」の姿を見て、一緒に大会を盛り上げようと思い琵琶湖からやってきました。

※「キャッピー」と「チャッピー」の愛称を合わせると「キャッチ」になり、人の心をキャッチする、という意味を込めました。

2 式典の概要

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成します。

「国民体育大会開催基準要項」、「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」、「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会開催基本構想」および「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会式典基本方針」に定められた内容を踏まえ、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会の融合を図り、「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンのもと、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」にふさわしい式典を目指します。

(1) 式典テーマ

湖国の感動 未来へつなぐ

(2) 式典の基本的な考え方

① 県民総参加のもと、両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動を共有し、ともに支え合う滋賀を発信する式典とする。

- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人が協力し、作り上げる式典を目指します。
- 両大会を通じて生まれた夢や感動を参加者全員で共有し合える式典を目指します。
- 障害に対する理解を深め、多様性を尊重し、共生社会づくりのきっかけとなる式典を目指します。

② 心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残る式典とする。

- 「来てよかった」「参加してよかった」と思えるような心のこもった温かいおもてなしを心がけ、参加するすべての人の記憶に残る式典を目指します。
- 出会いと交流の場をつくり、人と人との絆が深まる式典を目指します。

③ 琵琶湖やそれを囲む山々など豊かな自然と共生する中で培われた環境を大切にする県民の取組を活かし、環境に配慮した式典とする。

- 自然と共生し、環境を大切にしてきた県民の取組を活かし、CO₂削減など環境にやさしい式典を目指します。
- 持続可能な社会の実現に向け、県民の環境配慮意識のさらなる向上のきっかけとなる式典を目指します。

④ 豊かな自然や歴史、食や伝統芸能をはじめとする文化など、滋賀の魅力を全国に発信する式典とする。

- 企画や演出に創意工夫をこらして、滋賀ならではの魅力を広く全国に発信する式典を目指します。
- 県民が多様な滋賀の魅力を再認識、再発見し、ふるさと滋賀に自信と誇りをもつことができる式典を目指します。

3 総合開会式・開会式の概要

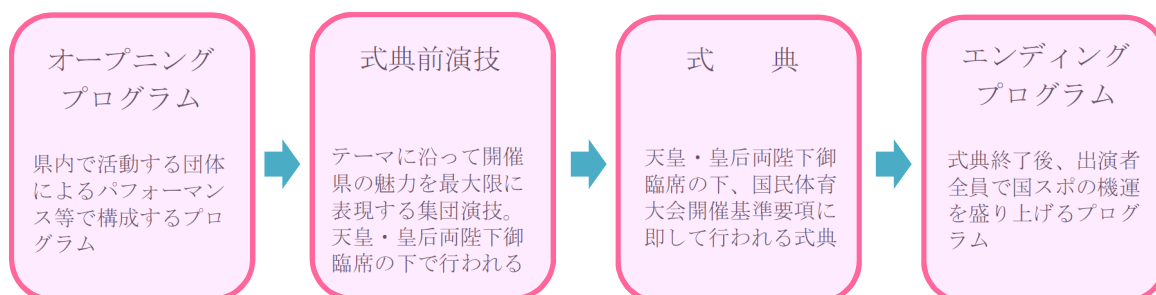
(1) 基本的な考え方（両大会共通）

- 企画や演出に創意工夫をこらして、広く滋賀のすばらしさを伝える内容とします。
- 年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民をはじめ、参加するすべての人が連帯感を感じられる内容とします。
- 全国から訪れる人々を心のこもったおもてなしで迎え、出会いと交流により絆を深める内容とします。
- 式典時間の短縮や演出方法などを検討し、参加する選手や出演者の負担軽減と式典の簡素効率化を目指します。

(2) 構成および次第

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ 総合開会式

- 総合開会式は、オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



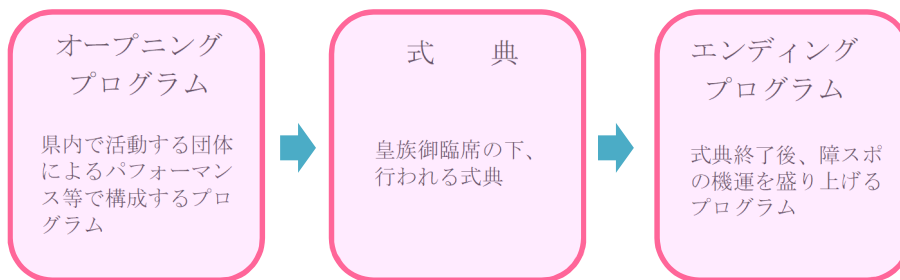
- 次第（総合開会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言（滋賀県知事）
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
- 6 滋賀県旗・参加都道府県旗・会場地市町旗掲揚
- 7 天皇杯・皇后杯返還
- 8 大会会長あいさつ
- 9 文部科学大臣あいさつ
- 10 天皇陛下お言葉
- 11 炬火入場・点火
- 12 選手代表宣誓
- 13 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

(イ) わた SHIGA 輝く障スポ 開会式

- 開会式は、オープニングプログラム、式典、エンディングプログラムで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



• 次第（開会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 開会宣言・大会会長あいさつ
- 4 国旗掲揚
- 5 大会旗・滋賀県旗掲揚
- 6 文部科学大臣あいさつ
- 7 皇族お言葉
- 8 炬火入場・点火
- 9 選手代表宣誓
- 10 歓迎演技
- 11 閉式通告

4 総合閉会式、閉会式の概要

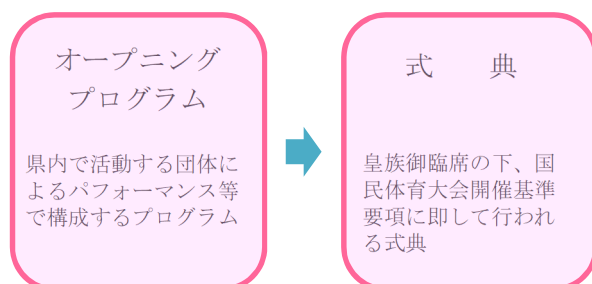
(1) 基本的な考え方（両大会共通）

- 選手たちの健闘を称えるとともに、大会に関わったすべての人に対する感謝の気持ちを表現した内容とします。
- 全国から訪れた人々と県民との絆や、大会で生まれた感動をさらに深める内容とします。
- 次期開催の「青の煌めき あおもり国スポ・障スポ」へエールを送る内容とします。
- 国スポの盛り上がり「わた SHIGA 輝く障スポ」につなげる内容とします。（総合閉会式）

(2) 構成および次第

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ 総合閉会式

- 総合閉会式は、オープニングプログラムと式典で構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



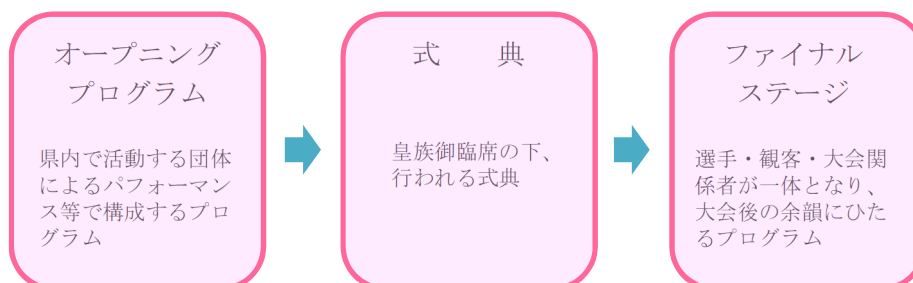
• 次第（総合閉会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 役員・選手団入場
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 天皇杯・皇后杯授与
- 6 大会会長あいさつ
- 7 スポーツ庁長官あいさつ
- 8 滋賀県旗・参加都道府県旗・会場地市町旗降納
- 9 大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
- 10 国旗降納
- 11 炬火分火・納火
- 12 国スポ旗引継
- 13 青森県旗掲揚
- 14 閉会宣言（滋賀県知事）
- 15 閉式通告

※次第については、公益財団法人日本スポーツ協会と協議の上、正式に決定します。

(イ) わた SHIGA 輝く障スポ 閉会式

- 閉会式は、オープニングプログラム、式典、ファイナルステージで構成します。
- 次第の順序、記述については、今後の計画により変更する場合があります。



- 次第（閉会式における式典の流れ）

- 1 開式通告
- 2 大会会長あいさつ
- 3 スポーツ庁長官あいさつ
- 4 皇族お言葉
- 5 大会旗・滋賀県旗降納
- 6 国旗降納
- 7 大会旗引継
- 8 炬火納火
- 9 閉会宣言（滋賀県知事）
- 10 閉式通告

5 各競技会の表彰式

(1) 基本的な考え方

- ・勇気と感動を与えてくれた選手たちの健闘を称える内容とします。
- ・簡素効率化をめざしながらも、滋賀県らしさや地域の特色を生かした内容とします。

(2) 実施方法等

- ・各競技会の表彰式は会場地市町が競技団体と協議の上、実施します。

[参考] 国民体育大会開催基準要項細則（2020年3月20日）

抜粋

8 本則第20項第5号（各競技会表彰式の要領）

各競技の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次のとおりとする。

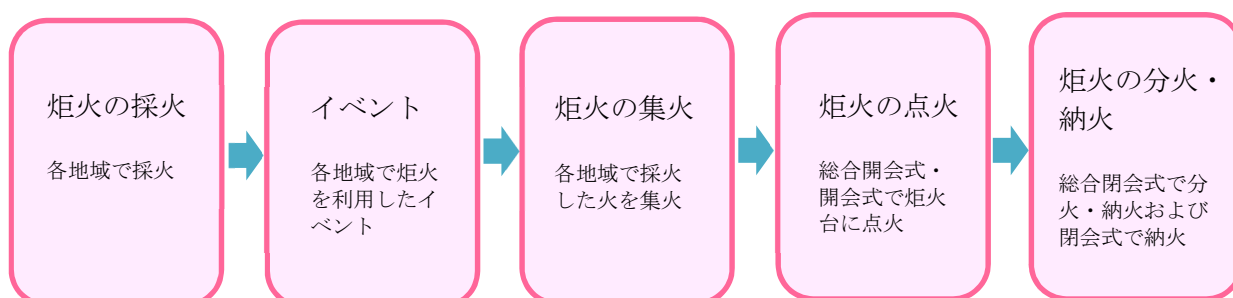
- ・成績発表
- ・表彰状授与
- ・大会会長トロフィー授与
- ・競技会会長閉会のあいさつ
- ・会場地代表歓送のことば
- ・国旗降納
- ・大会旗、実施競技団体旗、会場地市町村旗降納

6 炬火イベント


(1) 基本的な考え方

- ・地域の特色を生かし、簡素な中にも創意工夫をこらした、滋賀県の魅力があふれる内容とします。
- ・幅広い年代の県民が参加することにより、国スポ・障スポへの機運を盛り上げるとともに、地域の連帯感を高めます。

(2) 展開イメージ



7 式典にかかる今後のスケジュール

検討内容		R4年 (2022年) 3年前	R5年 (2023年) 2年前	R6年 (2024年) 1年前	R7年 (2025年) 開催年
全体計画	<ul style="list-style-type: none"> ・式典基本計画 ・式典実施計画 ・式典実施要項 	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項	式典運営マニュアル
式典運営	式典運営全般	<ul style="list-style-type: none"> ・式典の概要、次第 ・式典全体の基本的な考え方 ・競技会表彰式実施基準要項 ・炬火イベント基本方針 ・炬火用具デザイン策定方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施本部体制 ・動線計画および会場使用計画概要 ・参加者スケジュール ・選手団入退場計画 ・通信システムおよび音響映像計画 ・荒天時式典計画 ・炬火入場、点火計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典実施計画の修正および実施計画策定以降の確認事項追記 ・参集範囲決定 ・炬火イベント実施方法 ・炬火入場、点火および分火、納火の演出方法 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>湖国の感動 未来へつなぐ</p> <p>第79回国民スポーツ大会 第24回全国障害者スポーツ大会</p> <p>わたSHIGA輝く国スポ・障スポ</p> <p>2025</p>  </div> <p>総合練習会・総合リハーサル実施</p>
OP・EP	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラム ・エンディングプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの基本的な考え方 ・エンディングプログラムの基本的な考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの構成、時間、内容 ・エンディングプログラムの構成、時間、内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングプログラムの演目、出演団体、人数 ・エンディングプログラムの演出、出演者 	
式典音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・作・編曲者選定 ・使用楽曲選定 ・音楽隊編成 ・指導計画、練習計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典音楽の基本的な考え方 ・音楽隊編成の構想 ・音楽隊編成の方向性 ・使用曲の構想 ・作曲者、編曲者の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲者、編曲者の決定 ・音楽隊決定 ・試奏会の要項 ・使用楽曲決定 ・楽器整備計画 ・使用曲CD、楽譜制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮者選定 ・ファンファーレの演出 ・練習計画の決定 ・練習会開始 ・服飾デザイン 	
式典演技	<ul style="list-style-type: none"> ・演技振付 ・演技伴奏曲 ・演技出演者 ・出演団体選定 ・指導計画、練習計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・式典演技の基本的な考え方 ・活用素材 ・演技展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・出演団体の方向性、規模 ・演技時間内容 ・演技振付の制作 ・演技台本の制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・出演団体の選定 ・練習計画の決定 ・練習会開始 ・演技マニュアルの制作 ・用具、服飾等の制作 	

參考資料

国民体育大会開催基準要項（式典関係抜粋）

（令和2年3月2日 公益財団法人日本スポーツ協会）

20 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

総合開会式

開会宣言
国旗掲揚
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗掲揚
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚
天皇杯・皇后杯返還
大会会長あいさつ
文部科学大臣あいさつ
天皇陛下お言葉
炬火点火
選手代表宣誓

総合閉会式

成績発表
表彰状授与
天皇杯・皇后杯授与
大会会長あいさつ
スポーツ庁長官あいさつ
開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納
大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗降納
国旗降納
炬火納火
国体旗引継
（第78回大会以降は、「国スポ旗引継」）
次期開催県旗掲揚
閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。

(5) 競技会終了後の表彰式は細則第 8 項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日本スポーツ協会と協議して定める。

2 1 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。
- (3) 本大会の開催期間を除き、国体旗の保管は、日本スポーツ協会が行う。
- (4) 第 78 回大会以降は、「国体旗」を「国スポ旗」という。

2 2 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（式典関係抜粋）

（令和3年4月1日改正 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）

5. 大会開催の基本方針

- （1）大会は、毎年1回開催し、各都道府県の持ち回りとする。
- （2）大会は、毎年実施される国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。
- （3）大会会期は、国民体育大会本大会の開催決定にあわせて、開催3年前までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- （4）競技別会期は、開催2年前の年度末までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。
- （5）大会における競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体及び日障協登録競技団体等が主管する。
- （6）大会における競技施設は、原則として、国民体育大会本大会の会場を使用する。

16. 式典

開会式及び閉会式は、できるだけ簡素なものとする。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想（抜粋）

（令和3年3月22日改正 第9回常任委員会決定）

第3章 開催基本方針 ～滋賀が目指す大会の姿～

第1節 開催基本方針

開催基本方針は、両大会を次のような大会にするとしています。

1 基本方針

滋賀県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。

この地で令和7年（2025年）に開催する第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会は、次代を担う人育てや、活力に満ちた真心通い合う郷土づくり、全国から滋賀を訪れる多くの人との交流の絶好の機会として、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、県民の皆さんの総参加により、夢や感動、連帯感を共有できる大会とすることを目指します。

大会の開催を契機として、県民の皆さんがより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境をつくり、健康・体力の保持増進と競技力の向上を図るとともに、障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を進めます。

併せて、福祉、教育、観光および経済への総合的かつ複合的な効果を通して、ふるさと滋賀の活力を更に高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現につなげてまいります。

2 実施目標

1の基本方針に基づき、次の7つの実施目標を定めています。

実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会

県民の皆さんが日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」ことのできる環境づくりに取り組むとともに、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることができるよう、健康づくりへの関心を高め、行動につなげるきっかけとします。

実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

若者や女性の、大会に向けた準備や大会運営への主体的な参画を図るとともに、心身ともにたくましく思いやりの心を持った子どもの育ちや、女性がより一層スポーツに親しむことのできる環境づくりにつなげます。

実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

県、市町をはじめ、関係機関・団体、大学や企業との緊密な連携のもと、多様な人、多様な主体との協働を通じた創意工夫による大会準備・運営を行うとともに、滋賀の持つ「人の力」「地と知の力」を伸ばします。

実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

環境へのこだわりや歴史・文化・自然など多様な滋賀の魅力を県民自らが見つめなおし、全国に発信するとともに、大会準備や運営、「おもてなし」の経験をもとに、将来につながるビジネスへの展開など、地域経済の活性化を図ります。

実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

大会を契機として、滋賀の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次の世代を育てるなど、滋賀のスポーツの発展を支える好循環の形成に努めるとともに、次代を担う子どもが夢を育み、実現することのできる環境づくりを目指します。

実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会

既存施設の有効活用や、大会運営の簡素化・効率化を徹底するとともに、施設整備が必要な場合は、環境に最大限配慮し、大会終了後の持続的な活用が可能で、かつ、防災等多目的に使用できる、誰もが使いやすい施設としての整備を目指します。

実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

障害のある人が主体的に大会に参画することや、障害の程度にかかわらず日常的にスポーツに親しむ環境を整えることで自己実現の機会を上げるとともに、障害のある人もない人もみんなですポーツを楽しむことを通じて、人と人との絆を育み、障害への理解を深め、ともに支え合う社会を築きます。

こうした実施目標を実現し、全国から多くの人々が集うスポーツの祭典（＝両大会）を成功させることによって、滋賀の新たな時代の創造につながる様々な「レガシー」を創出し、これらを次の世代に継承していくこととします。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針

(令和3年3月22日 第9回常任委員会決定)

第79回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」および「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」ならびに「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」を踏まえ、「湖国の感動 未来へつなぐ」のスローガンのもと、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 県民総参加のもと、両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動を共有し、ともに支え合う滋賀を発信する式典とする。
- (2) 心のこもったおもてなしで歓迎し、交流により絆を深め、参加したすべての人の記憶に残る式典とする。
- (3) 琵琶湖やそれを囲む山々など豊かな自然と共生する中で培われた環境を大切にす県民の取組を活かし、環境に配慮した式典とする。
- (4) 豊かな自然や歴史、食や伝統芸能をはじめとする文化など、滋賀の魅力を全国に発信する式典とする。

2 式典の構成

式典は、両大会の開・閉会式、各競技会の表彰式、炬火イベントで構成する。

(1) 両大会の開・閉会式

国スポの総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手入退場および集団演技で構成する。

障スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。

(2) 表彰式

国スポの各競技会の表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第8項」の規定により構成する。

障スポの各競技会の表彰式は、国スポに準じた構成とする。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事および両大会開・閉会式で実施する。

3 式典の企画・運営

(1) 両大会の開・閉会式

開・閉会式は、県準備（実行）委員会が企画し、県実施本部（仮称）が運営

にあたる。

(2) 表彰式

国スポの各競技会の表彰式は、県準備（実行）委員会が別に定める要項に基づき、国スポにおいては、会場地市町準備（実行）委員会が関係競技団体と協議のうえ、企画・運営にあたる。

障スポの各競技会の表彰式は、県準備（実行）委員会が会場地市町準備（実行）委員会および競技運営主管団体と協議のうえ、企画し、会場地市町準備（実行）委員会および競技運営主管団体が運営にあたる。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、別に定める要項に基づくものとする。